

表-2 各地域の環境支配音

	環 境		配 音	
	音	源	意味カテゴリー	
駅 前	自動車の音	38.07%	輸送機関の音	58.92%
	バスの音	14.27%	合図の音	12.46%
	歩行者用信号の音	10.82%	生活の音	7.61%
	噴水の音	10.53%	アメニティの音	5.81%
繁華街	ビルからの音楽	33.28%	生活の音	51.03%
	人の話声	15.38%	アメニティの音	33.28%
	足音	15.14%	産業の音	13.79%
	店内の音楽	9.6%	輸送機関の音	0.64%
公 園	子供の声	32.13%	生活の音	52.67%
	野鳥の音	19.41%	鳥の音	19.41%
	風の音	12.58%	大気による音	1.51%
	遊具の音	9.52%	風による音	1.51%
住宅地	自動車の音	31.65%	輸送機関の音	54.72%
	犬の鳴き声	16.47%	生活の音	15.81%
	車道道路の舗装の音	14.31%	動物の音	16.47%
	工事の音	10.06%	産業の音	10.06%
海 岸	波の音	53.88%	水の音	53.88%
	自動車の音	32.64%	輸送機関の音	35.47%
	人の話声	3.48%	生活の音	6.71%
	子供の声	2.6%	情報音	1.75%
港	風の音	42.75%	大気による音	42.75%
	自動車の音	15.40%	輸送機関の音	35.47%
	作業音	14.44%	産業の音	14.44%
	船の音	11.98%	生活の音	8.53%

— : 環境支配音

5-2 場におけるイメージ支配音

認識実験から、ビデオ映像を見てイメージする音の音源は、6地域で54種抽出された。それらが各地域でどれくらい支配しているかを、イメージする音の支配率（以下、イメージ支配率^{*3}）を算出し求めた。地域におけるイメージのなかの支配音（以下、イメージ支配音）を音源でみると、繁華街や公園では、足音や人の話声といった生活音が、海岸と港では波の音や風の音が支配音になっている。意味カテゴリーでイメージ支配音をみると、駅前や住宅地、港が輸送機関の音に支配され、繁華街や公園には生活音が、海岸は水の音といったものがイメージ支配音となっている。また、海岸のイメージ支配音には、自動車の音がないことが分かった。

$$*3: \text{イメージ支配率} = \frac{\text{カテゴリー別想起数} \times 100}{\text{全想起数}}$$

5-3 場における音の評価

音声付きのビデオ映像を呈示し、認知した音を、ふさわしさと心地よさで評価させた。

自然音や生活の音、アメニティの音については概ね快い、情報の音、産業の音、指示音、機械音といった人工的な音は概ね不快であると評価された。しかし、ふさわしさを評価は、同じ音源でも地域によって異なり、快さとふさわしさは必ずしも一致せず、区別して評価されている。

5-4 環境音とイメージ音の比較による

ふさわしい音の抽出

イメージ音と環境音の違いをみるために意味カテゴリーで比較を行った（図-2）。日立駅前では、水の音や鳥の音といった自然の音は一致しているが、

イメージ音で輸送機関の音の支配率が低くなっており、生活の音とアメニティの音が高くなっていることが分かる。この生活の音やアメニティの音というのは、どちらかというと快くてふさわしい音である（図-3）。このように、イメージ支配率が環境支配率よりも高くなった音、すなわち、実際よりも印象に残る音というのは、快くてふさわしい音であることが分かった。

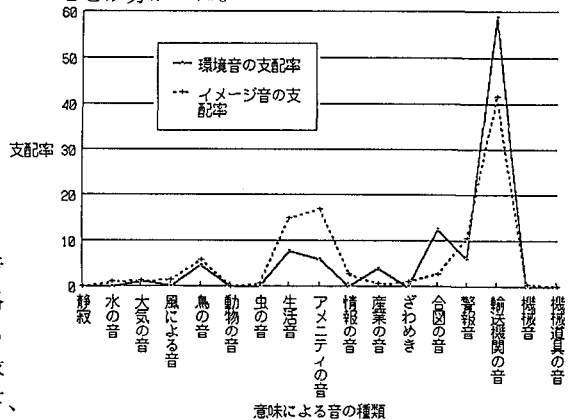


図-2 場における支配率の違い（日立駅前）

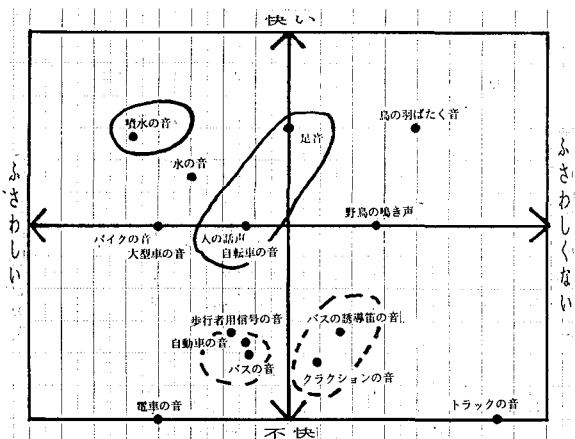


図-3 場における音の評価（日立駅前）

6. まとめ

本研究により得られた結果を以下にまとめる。

- ① レベルレコーダの記録紙から場における環境音の支配率と支配音が明きらかとなった。
- ② 場におけるイメージ音の支配率と支配音が明きらかとなった。
- ③ 人の音に対する評価において、快さとふさわしさは必ずしも一致しないことが分かった。
- ④ 実際よりも印象に残る音は、快くてふさわしい音であることが明きらかとなった。